

3-7 志望実現への努力

進路の計画

1. 題材設定の理由

3年生の12月ともなると、ほぼ自分の進路先が見えてくる。そして、ともするとその進路先しか目に入らず、高校に入りさえすればよい、といった考えに陥る生徒も出てくる。将来の進路実現のための過程に過ぎないことを理解させるとともに、そのために残りの中学校生活の中で、どんな努力をしなくてはならないのかを考えさせたい。

2. 指導のねらい

自分の進路設計図を明らかにさせる中で、進路実現のために、3月まで努力しなくてはならないという決意をもたせ、実践していこうとする態度を育てる。

3. 指導計画（全1時間）

事前	・自分の進路設計図（P.54[1]）を事前に記入し、そのための努力目標が発表できるようにしておく。
本時	・進路実現のために、3月までどんな努力をしていかなくてはならないか考える。
事後	・各自の決意文を交流しながら、今後の生活に生かすことができる。

<説話例>

今まで、学校行事などでは、班や学級、学年と一緒にあって取り組み、努力してきました。しかし、今こそ、一人一人が、自分なりの努力目標をもち、自分の進路実現のために努力する時がきました。これからの中学校生

活は、あっという間に卒業を迎えてしまうほど短いものですが、高校進学も進路実現のための過程に過ぎません。その先にある自分の進路実現をめざして、仲間とともに励まし合いながら、頑張っていきましょう。

	活動のねらい	活動の内容	指導・援助の留意点	資料等
はじめの活動	・いろいろな進路設計とそのため必要なことがあることに気づくことができる。	◎自分の進路設計とそのため必要なことを交流する。 ～将来就きたい職業に必要なこと～ ・責任感 ・ねばり強さ ・明るく活発なこと	・事前に自分の進路設計図とそのため必要なことをまとめさせておく。 ・抽象的な言葉が多いと思われるが、発表者一人一人を認め、励ましていきたい。	・P.54[1]、 [2]を書かせておく。
	課題：進路実現のために、3月までどんな努力をしなくてはならないか考えよう。			
中心の活動	・「N子さんの作文」を参考に、将来の願いを実現させるために、3月までどんな努力をしていかなくてはならないかを考えることができる。	◎P.55資料「N子さんの作文」を参考に、N子さんの生き方や考え方について、感想を交流する。 ・将来の希望をもち、具体的な努力目標をもって生活しようとしているN子さんはりっぱだ。 ・将来の進路のために意欲をもって生活しているN子さんを見習いたい。 ・自分も具体的な目標をもとうと思う。 ◎N子さんの将来の仕事に必要なことを交流する。 ・職場の人とあいさつができること ・大学卒の人にも負けないように勉強すること ◎N子さんが、決意したことを交流する。 ・3時間の学習 ・教室の入り口でのあいさつ	・P.55資料「N子さんの作文」をもとに、進路設計図を作っておき、説明する。 ・文章に書かれていることをもとに、大切な点をまとめていく。	・P.55資料「私は就職します」 ・N子さんの進路設計図を作っておく。
まとめの活動	・自分の努力目標を具体的にもちつことができる。	◎自分の努力目標を作文に書き、発表する。	・自分なりの努力目標を2、3名の生徒に発表させる。	・P.54[3]